

緑と海と人

鵜沼地区地域経営会議広報紙



第2号 (2011年3月31日発行)

発行人 / 鵜沼地区地域経営会議 長瀬輝行

事務局 / 鵜沼市民センター

33 - 2001



鵜沼地区地域経営会議まちづくり実施事業

自分達のまちは自分達の手で！

シニア支援事業

より良い鵜沼を目指し、地域の課題解決と明日の鵜沼づくりを実現していくために、熱意ある多種・多彩な人材が必要です。地域内のネットワークを構築するためにも、多くの受講者が参加されることを期待します。



議長 長瀬 輝行

「自分達のまちは自分達で創る」という志をもつシニアの方ならどなたでも大歓迎です。

さあ、地域活動に一歩足を踏み入れてみませんか。シニア支援事業がお手伝いします。

鵜沼のまちづくりはあなたを待っています。



「地域コミュニティ・ボランティア講座」 平成23年6月開講！

< 講座の特色 >

鵜沼地区を基盤とする「地域密着型」講座

鵜沼の事例を参考に地域コミュニティと地域活動のあり方を学びます。

地域団体・関係機関の協力によるボランティア活動の体験学習

知識習得から実践活動への推進を図ります。

受講者の興味・関心や問題意識に合わせた運営

受講者による自主企画・運営によるグループ討議やグループ研究を通して学びます。

終了後のネットワークづくり

講座修了後の活動支援とネットワークづくり。

< 募集要項 >

- 募集人員** 20人
募集期間 平成23年3月20日～5月31日
受講料 無料
開講日 原則月1回 金曜日10時～15時
開講時期 平成23年6月～平成24年5月(1年制)
受講会場 鵜沼市民センター
応募資格 鵜沼地区在住の方
応募方法 「申込書」を事務局あてに郵送又は持参(申込書は鵜沼市民センターで入手)

講座内容を知りたい方は

ホームページ <http://fujisawa-kugenuma .ecom-plat.jp>

FAX: 事務局にご連絡下さい。

(問合せ先)

鵜沼地区シニア支援事業運営委員会事務局

鵜沼市民センター地域経営担当

〒251-0037 鵜沼海岸2-10-34

TEL0466-33-2001



ドリームハイツ「ふれあい施設」を訪ねて

鶴沼が「生き生きと心豊かに暮らせるまち」となるように、横浜市戸塚区にある先進の活動団体を視察見学し、多くの事例を参考に次年度の活動に取り組んでいきます。

ふれあい・教育部会のまちづくり実施計画

- 特養誘致
 - 施設内ふれあいの場の実地的研究
- 子育て支援
 - 働き方による講習会の実施
- 学習塾
 - 夏休み中の子供置き留守児童の検封
- 子どもの遊び場対策
 - 地域内公園の実地調査



ビジネスモデル

ドリームハイツ ふれあい施設



事業内容

子育て支援・高齢者・ふれあい推進・防犯・防災・学童見守り隊・異世代交流事業等

参考内容

2つの自治会と15の地域団体やNPO、行政との連携による

- ふれあいの場所づくり
- 協力団体への参加呼びかけ
- 運営ノウハウ



急ぎたい災害時要援護者対策

まずは連携、人数等の把握から対策へ



3月11日、東日本大震災に見舞われ「スワ、東海大地震か!!」と驚いたのも記憶に新しいと思います。日頃、防災の備えはしていたとは言えいざとなると大津波等の想定外の事も多く、まだまだ準備不足だと感じた人も多かったのではないのでしょうか。

地域経営会議で防災対策強化の一環として取り上げた災害時要援護者対策では、1月24日・26日に100世帯以上と以下に分け地域の民生委員と町内会長が一同に会し討議しました。まずは各町内会で災害時要援護者をきちんと把握した上で、相互に連携し支援体制づくりを目指すことになりました。

今回の大震災で改めてその恐ろしさを実感した今、防災対策はむろんのこと地域コミュニティに於ける災害時要援護者対策は行政・地域団体・住民の力を結集し、早期体制整備を実現することが急務と考えています。

シリーズ 鶴沼を知ろう

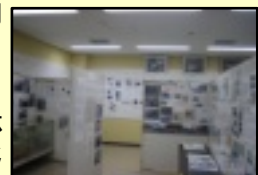
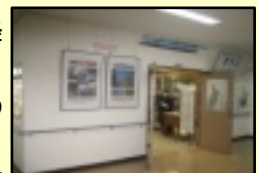
こんにちは 鶴沼郷土資料展示室です！

鶴沼地区には、奈良時代から、その名をとどめている北西部と、明治以降から急開発された別荘地・海水浴場のある南東部があります。

明治35年に江ノ電が、そして昭和4年に小田急江ノ島線が開通し、海岸の旅館には文人・墨客が多数滞在し、文化の華が咲きました。

こうした歴史・文化の伝統を再発掘し、資料として整理・保管し、次世代に引き継ぐため、2003年12月に鶴沼郷土資料展示室が鶴沼市民センター内にオープンしました。企画・運営・展示は運営委員が、毎日の受付等は約30人のボランティアが対応しております。

現在の展示は23回目、過去の分は全て保管されており、興味深い展示品を「学びの場」として是非ご覧下さい。展示の期間・内容は市の「広報ふじさわ」や鶴沼市民センター内のチラシをご覧下さい。



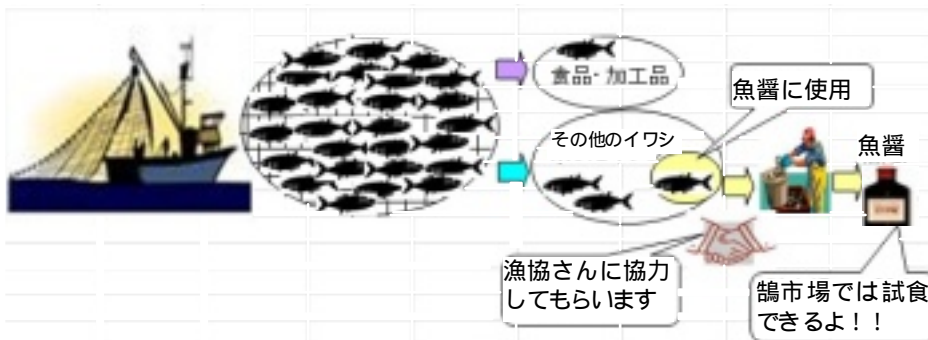


“海の駅湘南くげぬま” 設置要望書を市に提出 (藤沢市観光振興拠点化の推進)

観光拠点施設“海の駅湘南くげぬま”は、海水浴客やマリンスポーツ等で賑わう鵜沼海岸を観光資源として活かし、地産品の物販・食事・休憩ができる施設として観光振興を目指すものです。設置場所：候補地として引地川河口左岸・右岸を提案し、市に要望書を提出した。



“地産品 魚醤の開発” (地元の海で水揚げされたイワシで地産品の開発・拡販)



湘南の海で獲れたイワシは、漁協直売所で販売されたり、加工品としても消費されていますが、その他のイワシを有効活用し、新たな地産品として「湘南鵜沼ブランドの魚醤」を開発。



“鵜沼市場の開催” (地域活性化・地産地消)

6月19日(日) 八部公園で開催予定。
地産品の販売・各種イベントを実施。
(詳細は別途連絡致します)
地域の皆様のご来場をお待ちしております。



今年は初夏に開催します



鵜沼地区地域経営会議第1期を振り返って

鵜沼地区地域経営会議
議長 長瀬 輝行

平成21年10月より発足しました、鵜沼地区地域経営会議は本年3月で第1期を終了します。6つの部会での活動を通して、藤沢市新総合計画との共通課題に取り組んでまいりました。鵜沼地区への特別養護老人ホームの設置に関する要望書、及び“海の駅湘南くげぬま”(仮称)設置に関する要望書を市長宛に提出、更にはシニア支援事業として「地域コミュニティ・ボランティア講座」の開設等の具体的成果も見え始めてまいりました。また7月と11月には地区全体集会を開催し、新総合計画の地域まちづくり計画(案)の説明と各部会の活動報告を行いました。

4月以降は第2期として新たな委員を加え“一生住み続けたいまち、緑と海と人が輝くまち『湘南ふじさわ鵜沼』”の実現に努力してまいりますので皆様方の絶大なるご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

エコチャリタウンの実証実験行われる



藤沢市地球温暖化対策地域協議会が環境省からの委託により実証実験したもので、移動手段を車からより低炭素型のものに転化させることを目的としたものです。新たな人の流れを作ることによる地域活性化、渋滞の緩和なども意図しています。私たちも引き続き応援して行きます。

実施期間

平成22年11月3日～30日

営業時間

10:00～18:00

利用料金

100円/時間または500円/日

藤沢駅 15台

乗り捨てが出来るので助かるわ

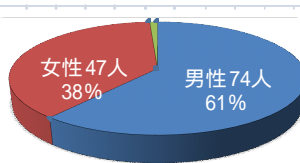
鵺沼海岸駅 15台

ビジネスに便利だね

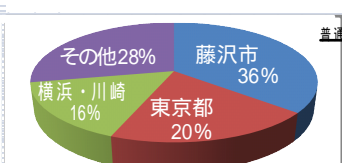
江の島駅 15台

予約を携帯電話やインターネットで出来るなんて便利ね

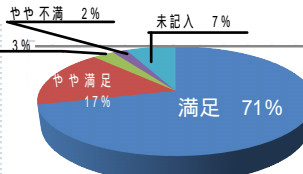
利用実績者数 122人 (未記入1人)



性別



居住地



満足度

散歩の足として移動が楽しい



買い物に小回りがきく



広報部会

鵺沼地区の情報発信拠点を目標して

鵺沼ポータルへのアドレッシング <http://fujisawa-kugenuma.ecom-plat.jp/>

動画も見られて楽しいな。何かマスコットがあるといいのに。



鵺沼地区地域経営会議のホームページはここをクリックすると見る事が出来、今までの活動内容が分かります。第2回地区全体集会の内容が動画で見ることが出来ます。

鵺沼の歴史・文化については鵺沼郷土資料展示室へ(只今準備中)

あとがき

今号の編集集中に東日本大震災の発生により、発行が遅れてしまいました。鵺沼地区に被害が殆ど無かったのが救いです。一刻も早い被災者の支援と復興が望まれます。



写真をクリックすると大きく表示されます。

動画も見られます

いろいろな地域情報を見られて便利だね。

ネットで鵺沼地区の新鮮なお役立ち情報を集めたサイト、鵺沼ポータル【愛称：くげポータル】がオープンしています。ポータルとはいろんな情報への入り口という意味です。PCや携帯電話からネットに繋いで【くげポータル】といれ検索してみてください。

おねがい

この度の東日本大震災で被災した方々に心からお見舞い申し上げます。鵺沼市民センターでは義援金の受付をしております。是非、ご協力をお願いいたします。期間は4月30日まで

新しく情報発信をしたい方は連絡待っています。サポートいたします。



ホームページ制作講習会